

議事 2

本事業のスケジュール 及び今年度の実施内容

本事業の目的とゴール

～ 久慈市沖海域への浮体式洋上風力発電の導入により ～ 自立電源の確保・エネルギーの地産地消を目指す

- ①事業性の検討 → 発電事業者への情報提供・ヒアリング等も参考に、施工性・導入量等を想定
- ②CO₂削減効果 → 火力発電と等価な発電量に対するCO₂削減効果を算出
施工性等の検討熟度に応じライフサイクルCO₂発生量算出も試みる
空間スケールや、与条件（風況・地形地質、海象等）から導かれる採算性の視点で捉える
- ③地産地消 → Round1を参考に、市民や需要家(企業)への売電体系の意見交換
- ④漁業協調 → 専門家ヒア・事例収集・漁業者意見交換等により具体的な方策のメニュー出し
- ⑤地域振興 → 新産業創出等について可能性メニュー出し（地域振興の勉強会からの情報提供）、自立型地域脱炭素化ビジネスの可能性検討
久慈市域の現状及びポテンシャルから導かれる規模で捉える
- ⑥環境影響評価 → 配慮書・方法書（素材）準備（国等による調査・検討成果の取り込み）→国のセントラルアセスを見据えた対応
地域への配慮及びその手法のスタンダード化・手続き期間短縮化への貢献

本事業の実施内容とスケジュール（案）

※赤字は当初からの変更

実施期間	令和2年度				令和3年度			令和4年度			令和5年度				
	開	始	12月	1月	2月	3月	4月	9月	10月	3月	4月	9月	10月	3月	
業務実施上の区分															
地産地消を目指すに当たって必要な調査															
調査業務における総合調整			●	→		●	→			●	→			●	→
基礎調査			●	→											
①文献調査			●	→											
②ヒアリングの実施			●	→											
③鳥類調査					●	→	●	→							
④魚類調査					●	→	●	→							
⑤漁業影響調査									●	→					
海底調査															
①海底地層調査(音波探査)							●	→							
②海底地質調査(底質分析)							●	→							
③海底地形(音響測深)							●	→							
海象調査(流況調査)					●	→	●	→							
風況観測(陸上観測)										●	→	●	→		
事業性・二酸化炭素削減効果の検証															
①洋上風力発電事業性														●	→
②CO2削減効果の評価														●	→
その他															
①先進地視察							●	→	五島		●	→		●	→
②検討会の開催						●	→			●	→		●	→	

令和4年度の実施内容とスケジュール（案）

作業工程/期間	令和4年度																		備考																		
	4月			5月			6月			7月			8月			9月				10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
実施計画書の作成																																					
実施計画書の作成	■																																				
各調査の計画立案・実施準備	■																		関係官署手続や海域利用者への周知を含む																		
基礎調査																																					
文献調査	■																		検証に向けた項目（施設設計・施工性等）																		
ヒアリング調査	■																		検証に向けた項目（施設設計・施工性等）																		
環境調査；鳥類調査	■																		検討経緯に応じて情報を追加・再整理																		
環境調査；魚類調査	■																		検討経緯に応じて情報を追加・再整理																		
漁業影響調査	■																		適切な時期に実施																		
調査結果の取りまとめ	■																																				
海底調査																																					
海底地層調査	■																		検討経緯に応じて情報を追加・再整理																		
海底底質調査	■																																				
海底地形調査	■																																				
調査結果の取りまとめ	■																																				
海象調査																																					
波浪調査	■																		全国港湾海洋波浪情報網(ナワリス)を利用																		
潮流観測	■																		令和2年度冬から1年間の調査を想定																		
調査結果の取りまとめ	■																		当年度結果をまとめる																		
風況調査																																					
風況観測	■																		1年間の連続観測を想定																		
調査結果の取りまとめ	■																																				
事業性・二酸化炭素削減効果の検証																																					
事業性の検証	■																																				
二酸化炭素削減効果の検証	■																		効果の試算を実施																		
検証結果の取りまとめ	■																																				
検討委員会の設置・運営																																					
設置・運営	■																		開催（3回）；導入目標の想定																		
関係機関・地域関係者との協議	■																																				
先進地調査																																					
先進地調査	■																		青森を想定																		
協議・打ち合わせ																																					
業務打ち合わせ	■																		感染症拡大状況に応じ対面/オンライン検討 全5回（初回・中間3回・最終）																		
報告書等のとりまとめ																																					
業務報告書のとりまとめ	■																		年度成果取りまとめ																		
成果物の作成	■																																				

令和4年度の実施内容

※赤字は主な実施項目

要素	実施項目	これまでの実施状況	令和4年度の実施内容
全体	久慈市沖洋上風力発電による脱炭素化ビジネス促進のための調査検討	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消を目指すに当たって必要な調査の具体的手法検討。 基礎調査及び海象調査の実施。 事業性・二酸化炭素削減効果の検証手法を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地産地消のための手法検討、導入可能性量とCO₂削減効果の算出の検討を行う
地産地消を目指すに当たって必要な調査	基礎調査 ① 文献調査 ② ヒアリングの実施 ③ 鳥類調査 ④ 魚類調査 ⑤ 漁業影響調査	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査(鳥類・魚類)は実施済み 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き既存資料・ヒアリング調査を行う。 →魚類への音の影響 →水温観測を追加して実施、漁獲統計収集 (参考;別途実施される共同調査で表面海水温定点連続観) →AISによる当該海域の船舶航行状況把握 資料・現地調査結果に基づき、影響の検討を行う。
	海底調査 ① 海底地層調査(音波探査) ② 海底底質調査(底質分析) ③ 海底地形調査	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査実施済み 	<ul style="list-style-type: none"> 資料・現地調査結果に基づき、事業性の検討を行う。
	海象調査(流況・波浪調査)	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査実施済み 	<ul style="list-style-type: none"> 資料・現地調査結果に基づき、事業性の検討を行う。
	風況観測	<ul style="list-style-type: none"> 詳細に調査すべき適切な調査計画を立案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上風況観測を実施する。(9月～)
事業性・二酸化炭素削減効果の検証	洋上風力発電の事業性CO ₂ 削減効果の評価	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電の事業性及びCO₂削減効果に資する情報収集整理と、解析方針を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電の事業性及びCO₂削減効果に資する情報を収集整理する。 令和5年度に実施を予定する、洋上風力発電の事業性及びCO₂削減効果の解析方針を検討する。
その他	先進地視察	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は五島を視察 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業者を対象とした先進地視察を実施する。
	検討委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に3回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は3回実施する。
	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 利害関係者の特定と事業の説明 漁業関係者のワークショップの実施 市民等を対象に、イベントでのポスター展示・アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 説明会やワークショップを引き続き実施する。

検討委員会のスケジュール

■検討会の開催予定

R3年度(2021年)～R5年度(2023年)に以下の内容の開催を予定する。

年度	回数	開催日程	年度目標(協議内容)
R3年 (2021年)	第1回	6月	・検討委員会設置・設立趣旨と検討事業への理解 ・環境調査等への意見・調整
	第2回	11月	・環境調査結果報告 ・先進事例紹介
	第3回	2月	・風況観測のための調査手法のレビュー ・次年度調査に向けた準備・関係機関協議 ・環境調査結果報告
R4年 (2022年)	第4回	6月	・今後の方向性 ・風況調査準備 ・事業性協議
	第5回	11月	・環境調査結果報告 ・設計、施工性に関するレビュー ・導入可能性エリア、導入目標協議 ・先進事例紹介
	第6回	2月	・CO2削減効果の試算・手法の意見・調整 ・事業性検討手法の協議
R5年 (2023年)	第7回	6月	・環境影響評価配慮書作成手法の協議 ・事業性検討(案)の協議 ・先進事例紹介
	第8回	11月	・環境影響評価配慮書(総合評価)協議 ・事業計画(案)の協議
	第9回	2月	・環境影響評価配慮書案の協議 ・事業性検討報告書の協議

※事業実施状況により適宜、協議内容は変更する